

第15回

基盤教育ワークショップ

平成25年度 山形大学教員研修会



地域に根ざし、世界を目指す

国立大学法人 山形大学

主催 / 山形大学教育開発連携支援センター

日時 平成25年 **9月3日(火)** 10:00~16:30

場所 **山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館**

学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、大学の教職員および「FDネットワーク“つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

9:00		受付	P R O G R A M			
10:00	司会	地域教育文化学部 教授 小田 隆 治				
	開会挨拶	山形大学 学長 結城 章 夫				
10:15 (90分)	[第1部] 基調講演	(基盤教育1号館121教室)				
	講師:	新潟大学 理事(経営・政策担当)				
		国際基督教大学 元学長 <small>まほろ かつら</small> 絹川 正 吉 氏				
	演題:	「なぜ教養教育か？」				
11:45	質疑応答					
12:00	昼食・休憩					
13:30	[第2部] ラウンドテーブル					
		第1分科会 / 「サイエンスボランティアから教育現場へ」				
	コーディネーター	山形大学理学部 教授 栗山 恭 直				
	パネリスト	千歳科学技術大学 総合光科学部 教授 長谷川 誠 氏				
		拓殖大学 工学部 准教授 森 きよみ 氏				
		第2分科会 / 「大学教育における学習コミュニティの形成」				
	コーディネーター	山形大学基盤教育院 教授 千代 勝 実				
	パネリスト	山形大学エンロールメント・マネジメント部 教授 福島 真 司				
		山形大学教育開発連携支援センター 講師 時 任 隼 平				
		第3分科会 / 「学生による学生支援」				
	コーディネーター	山形大学基盤教育院 准教授 杉原 真 晃				
	パネリスト	山形大学小白川キャンパス事務部就職課スタッフ(教職員)				
		山形大学小白川キャンパスキャリアサポーター(学生)				
		山形大学小白川図書館スタッフ(職員)				
		山形大学小白川図書館学生AAスタッフ(学生)				
		山形大学生協同組合スタッフ(職員)				
		山形大学生協学生委員会スタッフ(学生)				
16:30 (180分)						

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます

基調講演内容

演題：「なぜ教養教育か？」 講師：新潟大学 理事(経営・政策担当)
国際基督教大学 元学長 絹川正吉氏

戦後、新制大学が発足した時、大学基準では一般教育36単位の履修が課せられていた。1991年の大学設置基準の大綱化により、「一般教育」は死語になり、代わって「教養教育」、「共通教育」、「基盤教育」等の名称の科目が開講されている。しかし、一般教育の時代と同じように、そのような科目に大学教員がパトスを抱いているとは思えない。「なぜ教養教育か？」を改めて問わなくてはならないのである。

ラウンドテーブル概要

テーマ 「サイエンスボランティアから教育現場へ」

コーディネーター…理学部 教授 栗山恭直

第1分科会

近年、教育現場へのPBLの導入が叫ばれている。その実施は教員への負担増もあり普及しているとは言い難い。学生とサイエンスボランティアを行っている理系の先生は、理科教育が専門でない先生方も取り組んでいて、全国でそれぞれ活発に活動を行っている。分科会では、北海道と首都圏、それと山形での取り組みを紹介し、サイエンスボランティアが教育現場へPBLとして導入できるのか、あるいはどのような形で発展していくのか意見交換を行う。また、実際に活動している学生らに発表を行ってもらい、他の大学の取り組みを知ってもらうだけでなく、大学を超えたネットワークの構築も目的として開催する。

テーマ 「大学教育における学習コミュニティの形成」

コーディネーター…基盤教育院 教授 千代勝実

第2分科会

昨今の大学教育では、学生の自律的な学びに加えて、他者を巻き込んだ協働的な学びの重要性が認識されてきている。このラウンドテーブルでは教室内外における協働学習を誘発するためのコミュニティ形成の取り組みについて、2人〜キャンパス規模まで、また短期からライフタイムといった超長期までの取り組みをどのような形で醸成していくべきかその方法論を、さまざまな角度から事例や可能性について検討していく。

テーマ 「学生による学生支援」

コーディネーター…基盤教育院 准教授 杉原真晃

第3分科会

近年、大学進学率の上昇にともなう学生の多様化を背景に、学習支援、履修指導、生活指導、キャリア形成支援、留学生支援、障害を持つ学生の支援等、学生支援活動が盛んに行われるようになった。本分科会では、その中でも「学生による学生支援」に着目し、その現状と課題を検討する。それを通して、「学生による学生の学習・生活支援」活動のより良き発展を目指す。

〈参加申込み方法〉

申込み期限 / 8月23日(金)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレスを明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

FAX 023-628-4720

E-mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

お問合せ先

山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL.023-628-4720 FAX.023-628-4720

E-mail:k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kaizen/ksite/

参加申込書	氏名	所属機関(部局)
	住所 〒	T E L
	E-mail	

各関係機関の長 殿

山形大学教育開発連携支援センター長
須 賀 一 好

山形大学教員研修会「第15回 基盤教育ワークショップ」
の開催について（通知）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、教育方法の調査研究、教育方法等に関する点検・評価等を検討するため、全学の教育の基本方針を審議する教育・学生委員会の下に、教育開発連携支援センターを設置し、これらに係る調査及び研究を行っているところです。

このたび、本センターにおいて、「大学教育の活性化と授業改善の推進」を趣旨とした、山形大学教員研修会「第15回基盤教育ワークショップ」を、下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、貴学教員にも御参加いただきたく、御案内申し上げます。

敬具

記

日 時：平成25年9月3日（火） 10時から16時30分まで

会 場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館（山形市小白川町一丁目4-12）

内 容：第1部 基調講演

演題「なぜ教養教育か？」

講師：新潟大学 理事（経営・政策担当）、国際基督教大学元学長

絹 川 正 吉 氏

第2部 ラウンドテーブル

第1分科会：「サイエンスボランティアから教育現場へ」

コーディネーター：栗山恭直（理学部 教授）

第2分科会：「大学教育における学習コミュニティの形成」

コーディネーター：千代勝実（基盤教育院 教授）

第3分科会：「学生による学生支援」

コーディネーター：杉原真晃（基盤教育院 准教授）

その他：当日の参加者については、お手数ですが、別紙「参加者名簿」にご記入の上、8月23日（金）までに、下記担当あてお知らせください。

URL：<http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kaizen/ksite/>

[担当]

山形大学小白川キャンパス事務部
教務課教育企画担当 庄司・渡部・西田
TEL/FAX:023-628-4720
E-mail: k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

別紙

山形大学教員研修会「第15回 基盤教育ワークショップ」参加者名簿

機関名： _____

氏名	所属・職名	ラウンドテーブル参加希望		
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3
		NO. 1	NO. 2	NO. 3

※参加ご希望の分科会に○を付してください。

ラウンドテーブル分科会一覧

分科会	テーマ	コーディネーター
第1分科会	「サイエンスボランティアから教育現場へ」	栗山恭直（理学部）
第2分科会	「大学教育における学習コミュニティの形成」	千代勝実（基盤教育院）
第3分科会	「学生による学生支援」	杉原真晃（基盤教育院）

※電子メールまたはファックスでお申し込みください。

電子メールの場合はメール本文に上記事項を網羅していただいても結構です。

本件のご連絡先

氏名： _____

所属職名： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

